

在日朝鮮人とハンセン病
◆目次

I ハンセン病対策と朝鮮人

① 戦前日本の「癩対策」と朝鮮人

一 日本における隔離政策の始まり 024

二 朝鮮における隔離政策 027

三 日本への朝鮮人の流入と発病 029

四 在日朝鮮人ハンセン病患者の発病と入所経緯 032

② 戦後日本のハンセン病対策と朝鮮人

一 療養所における在日朝鮮人ハンセン病患者と出入国管理体制 044

(-) 外国人登録証明書への反発 044

(-) ハンセン病患者への強制退去に関する記載 047

二 在日朝鮮人ハンセン病患者への取締り強化 052

三 在日朝鮮人ハンセン病患者同盟結成と年金闘争 087

四 朝鮮人年金獲得運動に対する日本人入所者からの批判の声 080

五 日本人知識人による無理解 090

六 全患協、全盲連との共闘による「解決」 093

044

③ 在日朝鮮人、韓国人ハンセン氏病患者同盟結成と年金闘争

(-) 「韓国癩」への取締りと「癩刑務所」設立要求 052

(-) 「密入国」朝鮮人患者と大村収容所菊池分室 058

一 国民年金法制定と朝鮮人入所者 074

二 在日朝鮮人、韓国人ハンセン氏病患者同盟の結成 080

三 全患協、全盲連による後援 084

四 朝鮮人年金獲得運動に対する日本人入所者からの批判の声 087

五 日本人知識人による無理解 090

六 全患協、全盲連との共闘による「解決」 093

④ 南北分断と朝鮮人入所者

一 南北分断による入所者同士の思想対立 100

二 帰国事業 114

(-) 北朝鮮への帰国（帰還）熱 114

(-) 帰国者のその後 124

(三) 韓国への帰還 133
(四) 帰還がかなわなかつた入所者

II 療養所という場所で

① 療養所に生きる

一 療養所の暮らし	146
(一) 患者作業	146
(二) 恋愛・結婚	154
(三) 識字と在日朝鮮人	158

② それぞれの個人史

一 具奉守(久保田一朗)	146
二 金相權(佐川修)	178
三 金潤任(岩村春子)	197
四 金夏日	208

③ 望郷の思い

一 朝鮮半島への一時帰国 236

(一) 韓国への帰郷 236

(二) 韓国への集団里帰り 252

(三) 北朝鮮への帰郷 252

259 248 236

二 ここ日本の地で 259

(一) アリランの会 259

(二) 外部からの慰問公演 270

(三) 在日同胞、本国への支援活動 274

あとがき 279

主要参考文献 290

在日朝鮮人入所者関連文献

資料 305
関連年表 297